物理系薬学部会総会

日時：平成28年3月27日（日）12:00～13:00

場所：J会場 （パシフィコ横浜会議センター 5F 503）

報告

１．平成27年度活動報告

２．平成27年度決算報告

議案

１．平成28年度役員

２．平成28年度活動予定

３．平成28年度奨励賞

４．平成28年度学術集会

５．平成28年度予算

６．その他

平成27年度活動報告（1）

1. 総会の開催
   2015.3.26　N 会場（神戸学院大学B号館105）

2. 奨励賞の授与
   国立循環器病研究センター研究所　天満　敬
   徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター　山本　武範

3. メールマガジンの発行
   物理系薬学部会ニュース[8]・[9]

4. 学術集会の開催

平成27年度活動報告(2)

1. 第1回物理系薬学部会シンポジウム
   2015年3月26日　神戸学院大学
   オーガナイザー　　宇野　公之(阪大院薬)、萩中　淳(武庫川女大薬)
   参加者:約150 名

2. 第25回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (SRM2015)
   2015年5月30・31日　長崎大学　文教スカイホール　他
   実行委員長　　中山　守雄(長崎大院医歯薬)　参加者:109 名(+16,421円)

3. 第13回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム (PPF2015)
   2015年8月20・21日　長崎ホテル清風
   実行委員長　岸川　直哉(長崎大院医歯薬)　　参加者:67 名(+24,527円)

4. 第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム (BMAS2015)
   2015年8月21・22日　長崎大学薬学部、学生支援棟
   実行委員長　黒田　直敬(長崎大院医歯薬)　　参加者:253 名(+304,793円)

5. 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
   2015年11月19・20日　熊本大学薬学部大江キャンパス
   実行委員長　　大槻　純男(熊本大院薬)　　参加者:164 名(+4,680円)

平成28年度役員（世話人）

部会長: 萩中　淳（武庫川女大薬）
副部会長: 嶋田　一夫（東大院薬）
庶務幹事: 安井　裕之（京都薬大）
ブロック推薦世話人

北海道・東北　大江　知行（東北大院薬）
関東　川原　正博（武蔵野大薬・新）　嶋田　一夫（東大院薬）　福島　健（東邦大薬・新）
北陸・東海　山中　淳平（名市大院薬・新）
近畿　岡村　恵美子（姫路獨協大薬・新）　前田　初男（兵庫医療大薬）
中国・四国　紙谷　浩之（広島大院医歯薬）
九州　和田　光弘（九州保福大薬・新）

分野調整枠世話人（放射系）

飯田　靖彦（鈴鹿医療大薬）

拡大世話人

第26回金属の関与する生体関連反応シンポジウム:　石森　浩一郎（北大院理）
第29回バイオメディカル分析科学シンポジウム:　石濱　泰（京大院薬）
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム:　平嶋　尚英（名市大院薬）
第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム:　吉田　卓也（阪大院薬）

若手世話人

角田　誠（東大院薬）、小野　正博（京大院薬）、轟木　堅一郎（静岡県大薬）、大澤　匡範（慶応大薬）、岸川　直哉（長崎大院医歯薬）、吉田　卓也（阪大院薬）、小川　数馬（金沢大新学術）

部会長・副部会長・部会世話人・若手世話人

1. 世話人会は、部会長(議長)、副部会長、庶務幹事およびブロック推薦の世話人で構成し、年度の各シンポジウムの実行委員長は拡大世話人として必要に応じて参加する。
2. ブロック推薦の世話人は、北海道・東北（1）、関東（3）、北陸・東海（1）、近畿（2）、中国・四国（1）、九州（1）の各地区および分野調整枠（1）から括弧内の数だけ選出する。
   ブロック推薦の世話人の後任は、前任者が所属のブロックの中から推薦するが、推薦が無い場合は、部会長が推薦する。
3. 世話人の任期は2年とする。ただし、ブロック推薦の世話人のうち、約半分を毎年新メンバーとする。また、各シンポジウムの実行委員長の任期は1年とする。
4. フィジカル・ファーマフォーラム担当の数名の若手世話人をおく。
5. 部会長は、分析化学、物理化学、無機・放射化学（2巡で1回）の順で選出する。任期は2年とする。
6. 副部会長は、各担当分野から原則選挙で選ばれた次次期部会長（次期副部会長）候補者を世話人会で承認する。任期は2年とする。
7. 副部会長は、次期部会長となる。

平成28年度に、無機・放射化学分野で平成31, 32年度の部会長を選出

平成28年度活動予定

1．　総会

2．　奨励賞の授与、平成29年度奨励賞の選考

3．　メールマガジンの発行

4．　学術集会の開催

5．　委員会活動

研究委員会

・物理系薬学研究の活性化

教育委員会

・物理系薬学教育の充実

＜ご要望は部会長まで＞

平成28年度奨励賞

- 淵上　剛志（長崎大院医歯薬）

「難治性脳疾患の非侵襲的病態解析を目的とした分子プローブの開発」

- 村山　周平（放医研）

「刺激応答性ナノ粒子を用いた生理活性物質の機能制御法の開発と医療応用への展開」

- 渡邊　裕之（京大ウイルス研）

「アルツハイマー病の早期診断および治療薬開発のための分子イメージングプローブの開発」

奨励賞規程

・部会奨励賞を設け、毎年、若干名に授与する。応募資格は、下記の通りとする。

・ 受賞年度の4月1日 に満38歳未満で、物理系薬学部会員でありかつ3年以上継続して薬学会員である者。

・その業績の一部を、薬学会年会、薬学会支部大会あるいは物理系薬学部会シンポジウムで発表した者。

・審査は書類審査とし、部会世話人（ただし、部会長、拡大世話人および若手世話人を除く）が行い、部会長が承認する。ただし、部会世話人が候補者と共同研究を行うなど利益関係にある場合は、当該世話人は選考には加わらない。

・薬学会奨励賞受賞者および当該年度の薬学会奨励賞受賞候補者は授賞対象から除外する。

・支部奨励賞を含む薬学会の各賞受賞者で、その授賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象から除外する。

平成28年度学術集会の開催・開催予定

1. 第2回物理系薬学部会シンポジウム
   2016年3月27日　パシフィコ横浜
   オーガナイザー　本間　浩（北里大薬）、嶋田　一夫（東大院薬）

2. 第26回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2016）
   2016年6月17・18日　北海道大学　学術交流会館　他
   実行委員長　石森　浩一郎（北大院理）

3. 第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2016）
   2016年8月27・28日　ロッジ舞洲
   実行委員長　吉田　卓也（阪大院薬）

4. 第29回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2016）
   2016年9月2・3日　京都大学桂キャンパス　船井哲良記念講堂、桂ホール
   実行委員長　石濱　泰（京大院薬）

5. 第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
   2016年11月17・18日　名古屋市立大学　田辺通キャンパス
   実行委員長　平嶋　尚英（名市大院薬）

物理系薬学部会シンポジウム

・部会員が一堂に会し、研究・教育に関する情報を交換する場
（物理系薬学の教育・研究を展望するシンポジウムは解消）

・部会奨励賞の授賞式・受賞講演の場

・薬学会年会期間中に開催

・オーガナイザーは、年会の担当者および副部会長
（次年度は、大江　知行（東北大院薬）と嶋田　一夫（東大院薬））

平成28年度予算

単位：千円

事業名	交付金	事業収入	収入（合計）	支出（合計）
第14回　次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PPF2016)	500	1,320	1,820	1,820
第26回　金属の関与する生体関連反応シンポジウム	200	925	1,125	1,125
第29回　バイオメディカル分析科学シンポジウム	200	3,305	3,505	3,505
第38回　生体膜と薬物の相互作用シンポジウム	200	1,500	1,700	1,700
物理系薬学部会	500	0	500	500
合計	1,600	7,050	8,650	8,650

平成28年度学術集会の開催・開催予定

1. 第2回物理系薬学部会シンポジウム
   2016年3月27日　パシフィコ横浜
   オーガナイザー　本間　浩（北里大薬）、嶋田　一夫（東大院薬）

2. 第26回金属の関与する生体関連反応シンポジウム（SRM2016）
   2016年6月17・18日　北海道大学　学術交流会館　他
   実行委員長　石森　浩一郎（北大院理）

3. 第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2016）
   2016年8月27・28日　ロッジ舞洲
   実行委員長　吉田　卓也（阪大院薬）

4. 第29回バイオメディカル分析科学シンポジウム（BMAS2016）
   2016年9月2・3日　京都大学桂キャンパス　船井哲良記念講堂、桂ホール
   実行委員長　石濱　泰（京大院薬）

5. 第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
   2016年11月17・18日　名古屋市立大学　田辺通キャンパス
   実行委員長　平嶋　尚英（名市大院薬）